

副首都推進本部、始動



12月28日、大阪府庁にて第1回「副首都推進本部会議」が開催されました。これは11月の大阪府知事・市長のダブル選挙の結果を受けて実現したものです。松井 一郎大阪府知事、吉村洋文大阪市長に加えて、猪瀬直樹元東京都知事や大学教授など府市の特別顧問が参加し、大阪の現状把握や参加者それぞれの意見の表明が行われました。「副首都・大阪の確立」に向けて設置された副首都推進本部の役割は主に以下の3点です。

副首都推進本部の役割

- 中長期的な取組み方向の検討
- 新たな大都市制度の再検討
- 二重行政の解消

「副首都」の定義に始まり、大阪に求められる機能、具体的な実施内容や工程などが今後話し合われることとなります。これまで大阪をはじめとする地方都市は「東京一極集中」を憂いながらも、打破するための行動をなかなか打ち出すことができませんでした。いま国で議論が行われている「地方創生」も、東京が地方の取組みにお墨付きを与え、補助金を渡す旧来型から抜け出すことができていません。私たちが目指しているのは、「大阪から日本を変える」ということ。地方から国の在り方を考え行動する、過去の地方行政では例のない副首都推進本部会議の取組みに、議会としても大いに注目し、熱い議論を行っていきます。

維新府議団

大阪府市による副首都推進本部に先駆けて、大阪維新の会・府議団では12月17日に「副首都インフラ戦略PT（プロジェクトチーム）」が発足しました。こちらは大阪維新の会府議団として、副首都にふさわしい都市機能について検討するもの。座長の西野修平府議をはじめとするコアメンバーと共に、私も副政調会長としてチームに参加しています。「副首都たる大阪」には必要な都市機能、交通インフラなどを「点」ではなく「線」として繋がりを持たせることが欠かせません。

これまで大阪市内中心だった政策を、堺はもちろん他地域にまで広げること大阪全体の発展が見込めます。

副首都インフラPT発足

まずは今年最初の2月議会での代表質問を目指して、有意義な議論ができるように取り組みます。（副首都インフラPTの活動内容については「月刊永藤タイムズ」にて随時お伝えします）

平成27年12月27日
維新府議団・代表質問への松井知事答弁

大阪は、多くの企業や官公庁、都市インフラが集積する西日本随一の都市、わが国第二の拠点であるが、残念ながら首都・東京とは大きな開きがある。グローバルな都市間競争が激化する中、大阪という大都市が「副首都」という具体的な目標のもと、政治・経済・文化・観光交流・交通・都市インフラなど、あらゆる面で中枢機能を高め、わが国の成長をけん引するツインエンジンの一つとなることは、国全体の経済発展や国土強靱化にも寄与するものであり、大阪が果たすべき重要な使命と考えている。

大阪府議会議員
ながふじ ひでき
永藤英機です。

大阪の役割





12月22日の大阪府議会9月定例会(後半)の採決では、「大阪府立大学に係る中期目標の一部を変更する件」が可決されました。この議案は、大学の中期目標に「統合による新大学実現に向け、準備を進める」という文言を入れたもの。これまで現場の大学間の協議では統合に向けて話がまとまっていながらも関わらず、議会では「拙速だ、もっと議論すべき」という声があり前に進みませんでした。(私はこのような理由は無責任だと考えています。いつまでにどのような議論をするかを示さず、まるで反対ありきのように思えるからです)それが今回の大阪ダブル選挙の結果を受けて反対していた会派も多くが賛成に回りました。選挙を通してこれまで動かなかった状況に変化が出たのです。

今後、当初の方針であり私たちが主張する「法人二大学」の可否、統合に向けた具体的な内容やスケジュールについて議論が繰り広げられる見込みです。私は府大卒業生として、皆様の税金を投入するに値する、社会にとつて真に求められる大学を目指して大阪府議会で議論を行っていきます。

● 出前 府政 報告会、行います! ●



3名様以上お集まりの場にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき

検索

毎月
発行
して
います!



コラム「報酬カットは必要か」

大阪府議会9月定例会(後半)では、来年度の府議会議員の報酬削減が可決されました。これは月額報酬を30%削減するもので、私が初当選した平成23年から継続して来年度で6年目になります。他の議会でも報酬削減は実施されていますが、多くは話題作りのようなもので知らない間に元に戻されていることが多いのではないのでしょうか。

正直、30%カットされた額では(普段の生活だけなら十分だとしても)議員活動を行う上ではかなり厳しいというのが現状です。それでも与えていただいた任期を覚悟を持って行動していくために、来年度も報酬削減を決定しました。まずは議員が身を切る姿勢を示さず、行政の大改革や府民市民の皆さんに大胆な政策の後押しをお願いすることはできません。政治家の不祥事が頻繁に報道される今、議員自らが身を正し、信頼に足る仕事をしなくてはなりません。

そして有権者の皆さんから「議員にもっと活動してもらうためには報酬を上げるべきじゃないか」と言っていたけりになりたいと考えています。堺区の皆様にはぜひ議員の活動に関心をお寄せいただき、共により良い街づくりにご協力をお願いできますと幸いです。

私も平成28年も大阪再生を目指して精一杯行動します!

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ(39歳)。
大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。(堺市堺区選出)大阪維新の会大阪府議団・副政調会長



■ 府政に関する相談やお問い合わせは
大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、
ご感想を
お寄せ下さい!

